広報文芸

自由律俳句

おおくさの会編集室選

安眠のためと求めたワイン今夜もおまじない　茶屋　長谷川由美子

雨の日はもの足りなくも心安らぐ農休日　茶屋　小林　道子

花の優しく取り残したオクラの角　生山　渡辺　圭子

食卓支えたトマトに別れを告げた初霜の朝　茶屋　藤原　寿郎

新米の香りふくやか味わいて　宝谷　長尾　智恵

俳句

駄句駄句会編集室

凍て星やわれらを繋ぐ尹東柱（ゆんどんじゅ）　萩原　岡本　健三

自販機のホットに変わる冬仕度　宮内　木村萬佐子

帰国子に買う秋の幸道の駅　宮内　田邊登志美

山ふさぐ車窓流るる初紅葉　宮内　船越　裕子

夕日映え母校の銀杏友想う　矢戸　和田　淑子

わが病ひと山こえて師走くる　神戸上　笹間　玲子

秋空に赤も黄色も子も走る　菅沢　秦　節

神無月軍拡ダンスの人もあり　下石見　矢田貝　元

短歌

今年また賀状を書ける喜びを　分かち合わんと老体にして　湯河　山田　司郎

大晦日家族揃って年越の　そばを囲んで無病息災　下石見　浅川　三郎

この町に社会的共通資産有り　町民の知恵で脱皮を図ろう　下石見　浅川　三郎

例年の師走に向けて障子張り　今年は少くなし孫の成長　上石見　福田　輝之

雪降りて歩道は真白くすべりそう　武道館にてノルディックウォーク　上石見　福田　輝之

ヤレ急げ証拠隠滅鍋のこげ　ゴリゴリガリリあーくたびれた　下石見　佐伯みすず

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介しています。個人での投稿もできますので、お気軽に送付ください。

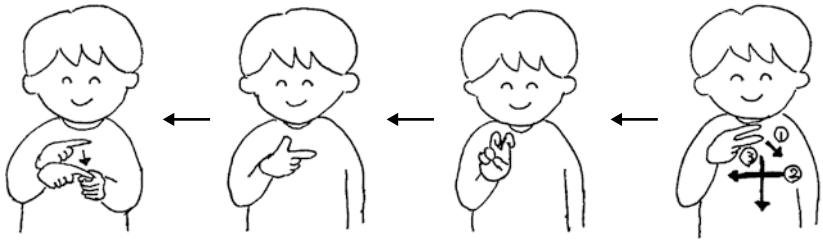
「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ケ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

1月の日程

1月～3月はお休みします。

「2026年」



2千
人差し指と中指で「2」をつくり横に向け空間に自分から見て「千」と描く

20
人差し指と中指で「2」をつくり曲げる
縦に表わす

6
親指が「5」を表し人差し指とで「6」を表す
横にする

年
右の人差し指の指先を左の握った拳に当てる

※「手話表現には、色々な表現方法があります。」